

国際政治経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
311	国際政治経済学演習 (内藤巧)	通年	3年以上：4単位	内藤 巧 政政・経演・国演

副題
Subtitle

国際貿易理論

授業概要
Course Description

国際貿易理論の英語論文6本以上を精読する。選ばれている6本の論文は、いずれも国際貿易理論の各分野における代表的な論文であり、世界中の国際貿易の研究者が理解しているべきものである。理論の論文を読むためには、数式を全て自力で導出し、かつその経済学的意味を直観的に説明できなければならない。また、分からない概念が出てきた場合、自分で他の論文や本を調べて解決しなければならない。報告者は事前に割り当てず、参加者の中からランダムに指名するので、全ての参加者は常に報告の準備をしておかなければならない。

授業の到達目標
Objectives

- ・経済学の学術論文を読めるようになる。
- ・経済学を研究するとはどういうことかを理解できる。

授業計画
Course Schedule

第1回 - 第5回 : Dornbusch et al. (1977, AER)
 第6回 - 第10回 : Jones (1965, JPE)
 第11回 - 第15回 : Krugman (1980, AER)
 第16回 - 第20回 : Brander and Spencer (1985, JIE)
 第21回 - 第25回 : Abe (1992, IER)
 第26回 - 第30回 : Acemoglu and Ventura (2002, QJE)
 時間が余れば、以下の論文に進む：
 ・Melitz (2003, EMA)
 ・Eaton and Kortum (2002, EMA)

教科書
Textbook(s)

なし。

参考文献
Reference Book(s)

- [1] Abe, K., 1992. Tariff reform in a small open economy with public production. *International Economic Review* 33, 209-222.
 [2] Acemoglu, D., Ventura, J., 2002. The world income distribution. *Quarterly Journal of Economics* 117, 659-694.
 [3] Brander, J. A., Spencer, B. J., 1985. Export subsidies and international market share rivalry. *Journal of International Economics* 18, 83-100.
 [4] Dornbusch, R., Fischer, S., Samuelson, P. A., 1977. Comparative advantage, trade, and payments in a Ricardian model with a continuum of goods. *American Economic Review* 67, 823-839.
 [5] Eaton, J., Kortum, S., 2002. Technology, geography, and trade. *Econometrica* 70, 1741-1779.
 [6] Jones, R. W., 1965. The structure of simple general equilibrium models. *Journal of Political Economy* 73, 557-572.
 [7] Krugman, P., 1980. Scale economies, product differentiation, and the pattern of trade. *American Economic Review* 70, 950-959.
 [8] Melitz, M. J., 2003. The impact of trade on intra-industry reallocations and aggregate industry productivity. *Econometrica* 71, 1695-1725.
 また、演習開始時点までに以下の教科書程度の知識を身につけておくべきである：
 中西訓嗣、広瀬憲三、井川一宏（編）、2003. 『国際経済理論』。有斐閣、東京。

評価方法 Evaluation	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	%	
平常点評価 Class Participation	100 %	・ 報告及び議論のパフォーマンスを総合的に評価する。 ・ 欠席3回以上で不合格。
その他 Other	%	

備 考
Note

- ・ 論文は大学のネットワーク経由で入手すること。
- ・ 毎回の準備に相当の時間と努力が必要なことを覚悟すること。
- ・ 準備は自分で行い、担当教員に頼らないこと。
- ・ 本気で経済学を研究したい学生しか本演習を志望してはならない。

関連URL
URLs for References

<http://www.f.waseda.jp/tnaito>